

## 日本赤十字社 献血チャリティ・コンサートNew Year Concert 2022

2022年1月8日（土）サントリーホール 大ホール

### 【出演者プロフィール】

#### ●広上 淳一（指揮） Junichi HIROKAMI, Conductor



©Masaaki Tomitori

東京生まれ。尾高惇忠にピアノと作曲を師事、音楽、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。26歳で第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクールに優勝。以来、フランス国立管、ベルリン放響、コンセルトヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。これまでノールショピング響、リンブルク響、ロイヤル・リヴァプール・フィル、コロンバス響のポストを歴任。近年では、ヴァンクーヴァー響、ポルティモア響、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管、ミラノ・ヴェルディ響、リール国立管、サンクトペテルブルク・フィル、バルセロナ響、モンテカルロ・フィル、サンパウロ響、ニュージーランド響等へ客演。国内では全国各地のオーケストラはもとより、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管にもたびたび招かれ絶賛を博している。オペラ分野でもシドニー歌劇場へのデビュー以来、数々のプロダクションを指揮。

2003年、齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。現在、京都市交響楽団常任指揮者兼芸術顧問。2015年、同響とともにサントリー音楽賞受賞。2020年4月より京都コンサートホール館長も務める。2017年より札幌交響楽団友情客演指揮者。2021年9月より日本フィルハーモニー交響楽団フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）。また、東京音大指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。

2003年、齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。現在、京都市交響楽団常任指揮者兼芸術顧問。2015年、同響とともにサントリー音楽賞受賞。2020年4月より京都コンサートホール館長も務める。2017年より札幌交響楽団友情客演指揮者。2021年9月より日本フィルハーモニー交響楽団フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）。また、東京音大指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。

#### ●上野 通明（チェロ） Michiaki UENO, Cello



パラグアイに生まれ、幼少期をスペイン・バルセロナで過ごす。

2009年、若い音楽家のためのチャイコフスキー国際音楽コンクールに13歳で日本人初の優勝。翌2010年、ルーマニア国際音楽コンクール最年少第1位・ルーマニア大使館賞・ルーマニアラジオ文化局賞を併せて受賞。2014年、ヨハネス・ブラームス国際コンクール優勝。2021年、ジュネーヴ国際音楽コンクールチェロ部門日本人初の優勝・併せて3つの特別賞受賞。

ソリストとして、ワルシャワ国立フィルハーモニー管、スイス・ロマンド管、ロシア響、ジリナ室内管、読売日響、新日本フィル、東京フィル、東響など、国内外のオーケストラと多数共演。また、ジャンギャン・ケラス、ダニエル・ゼベック、ホセ・ガジャルド、堤剛、諏訪内晶子、伊藤恵等、著名アーティストと共演し好評を博す。テレビ朝日「題名のない音楽会」、NHKBS「クラシック倶楽部」、NHKFM「リサイタル・ノヴァ」等に出演。

「宗次エンジェル基金」「江副記念リクルート財団」奨学生、岩谷時子音楽文化振興財団より「Foundation for Youth」「岩谷時子賞」奨励賞。「京都青山音楽賞」新人賞受賞。 これまでに（故）馬場省一、イニアキ・エチェパレ、毛利伯郎各氏に、現在ピーター・ウィスペルウェイ、ゲーリー・ホフマン各氏に師事。更なる研鑽を積みながら、主にヨーロッパと日本で積極的な演奏活動を行っている。使用楽器は1758年製P. A. Testore（宗次コレクションより貸与）。

## ●東京都交響楽団（管弦楽） Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra



東京オリンピックの記念文化事業として1965年東京都が設立（略称：都響）。現在、大野和士が音楽監督、アラン・ギルバートが首席客演指揮者、小泉和裕が終身名誉指揮者、エリアフ・インバルが桂冠指揮者を務めている。定期演奏会などを中心に、小中学生への音楽鑑賞教室（50回以上／年）、青少年への音楽普及プログラム、多摩・島しょ地域での出張演奏、ハンディキャップを持つ方のための「ふれあいコンサート」や福祉施設での訪問演奏のほか、2018年からは、誰もが音楽の楽しさを体感・表現できる“サラダ音楽祭”を開催するなど、多彩な活動を展開。CDリリースは、インバルによる『マーラー：交響曲全集』のほか、交響組曲『ドラゴンクエスト』（全シリーズ）や『Fate/Grand Order』などのゲーム音楽まで多岐にわたる。

「首都東京の音楽大使」たる役割を担い、これまで欧米やアジアで公演を成功させ、国際的な評価を得ている。2021年7月に開催された東京2020オリンピック競技大会開会式では、「オリンピック賛歌」の演奏（大野和士指揮／録音）を務めた。

公式WEBサイト <https://www.tmsso.or.jp/>